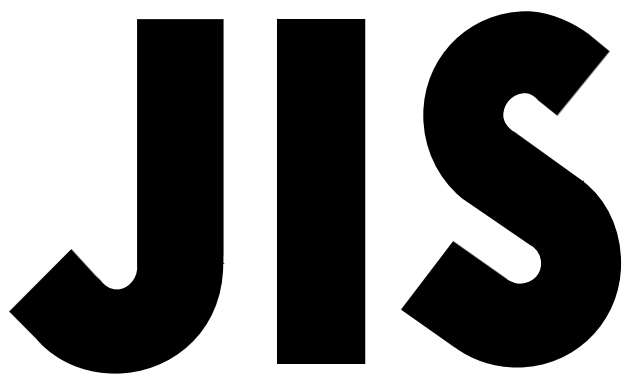




接着剤—一般試験方法—  
第 1 部：基本特性の求め方

JIS K 6833-1 : 2008

(ECAA/JPIF/JSA)

平成 20 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

|        | 氏名      | 所属               |
|--------|---------|------------------|
| (委員長)  | 宮 入 裕 夫 | 東京電機大学           |
| (委員)   | 大 石 奈津子 | 財団法人日本消費者協会      |
|        | 奥 山 通 夫 | 社団法人日本ゴム協会       |
|        | 笠 野 英 秋 | 拓殖大学             |
|        | 加 茂 徹   | 独立行政法人産業技術総合研究所  |
|        | 田 中 誠   | 財団法人鉄道総合技術研究所    |
|        | 高 野 忠 夫 | 財団法人化学技術戦略推進機構   |
|        | 高 橋 信 弘 | 東京農工大学           |
|        | 西 川 輝 彦 | 石油連盟             |
|        | 西 本 右 子 | 神奈川大学            |
|        | 林 田 昭 司 | 社団法人日本化学工業協会     |
|        | 堀 友 繁   | 財団法人バイオインダストリー協会 |
|        | 中 田 亜洲生 | 昭和シェル石油株式会社      |
|        | 村 重 正 行 | 日本プラスチック工業連盟     |
| (専門委員) | 村 井 陸   | 財団法人日本規格協会       |

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.3.20

官 報 公 示：平成 20.3.21

原 案 作 成 者：接着剤・接着評価技術研究会

(〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 新都心学術センター TEL 03-3371-5181)

日本プラスチック工業連盟

(〒106-0032 東京都港区六本木 5-18-17 化成品会館 TEL 03-3586-9761)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 宮入 裕夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

|                  | ページ |
|------------------|-----|
| 序文               | 1   |
| 1 適用範囲           | 1   |
| 2 引用規格           | 1   |
| 3 用語及び定義         | 2   |
| 4 試験方法           | 3   |
| 4.1 試験の種類        | 3   |
| 4.2 試験の共通条件      | 3   |
| 5 一般性状に関する試験     | 4   |
| 5.1 外観           | 4   |
| 5.2 密度           | 4   |
| 5.3 pH           | 7   |
| 5.4 粘度           | 8   |
| 5.5 不揮発分         | 9   |
| 6 使用条件に関する試験     | 11  |
| 6.1 水混和性         | 11  |
| 6.2 塗布量          | 11  |
| 6.3 白化温度及び最低造膜温度 | 12  |
| 6.4 接着強さ発現性      | 12  |
| 6.5 貯蔵安定性        | 13  |
| 7 接着層の性能に関する試験   | 14  |
| 7.1 ブロッキング性      | 14  |
| 7.2 軟化温度         | 16  |
| 解 説              | 20  |

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、接着剤・接着評価技術研究会 (ECAA)、日本プラスチック工業連盟 (JPIF) 及び財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 6833** : 1994 は廃止され、この規格及び **JIS K 6833-2** に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

**JIS K 6833** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS K 6833-1** 第 1 部：基本特性の求め方

**JIS K 6833-2** 第 2 部：サンプリング

# 接着剤—一般試験方法—第 1 部：基本特性の求め方

## Adhesives—General testing methods—Part 1 : General properties

### 序文

この規格は、1994 年に制定した **JIS K 6833** を分割し、その第 1 部として、基本特性の求め方を規定したものである。

なお、対応国際規格は、現時点で制定されていない。

### 警告

この規格の利用者は、通常の実験室での作業に精通しているものとする。この規格は、その使用に関して起こるすべての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置を取らなければならない。

### 1 適用範囲

この規格は、接着剤の基本特性の求め方について規定する。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 7410** 石油類試験用ガラス製温度計

**JIS B 7411** 一般用ガラス製棒状温度計

**JIS G 3141** 冷間圧延鋼板及び鋼帯

**JIS H 4160** アルミニウム及びアルミニウム合金はく

**JIS K 6800** 接着剤・接着用語

**JIS K 6807** ホルムアルデヒド系樹脂木材用液状接着剤の一般試験方法

**JIS K 6828-1** 合成樹脂エマルジョン—第 1 部：不揮発分の求め方

**JIS K 6828-2** 合成樹脂エマルジョン—第 2 部：白化温度及び最低造膜温度の求め方

**JIS K 6833-2** 接着剤—一般試験方法—第 2 部：サンプリング

**JIS K 6848-2** 接着剤—接着強さ試験方法—第 2 部：金属の表面調整のための指針

**JIS K 6848-3** 接着剤—接着強さ試験方法—第 3 部：プラスチックの表面調整のための指針

**JIS K 6848-4** 接着剤—接着強さ試験方法—第 4 部：金属、プラスチックを除く被着材の表面調整のための指針

**JIS K 6850** 接着剤—剛性被着材の引張せん断接着強さ試験方法

**JIS K 6851** 接着剤の木材引張りせん断接着強さ試験方法